

「きらみずき」の収穫時期が近づいていきます

1. 生育状況と収穫時期

出穂以降、平年よりも気温の高い日が続いており、成熟期は平年並～やや早まる見込みです。以下の収穫予想を参考に、穂の黄化率を確認のうえ、適期に刈り取りましょう。

《収穫時期のめやす》

移植時期	出穂期	成熟期予想 (登熟期間 38 日)
5月上旬植	8月3日	9月10日
5月中旬植	8月15日	9月22日
5月下旬植	8月20日	9月27日

※気温の推移や稲体の栄養状態等により成熟期には早晚が生ずるので、ほ場で籾の黄化率を確認し、適期収穫に努めましょう。

2. 収穫適期の判断は・・・

●籾黄化率50%▶収穫7日前

●籾黄化率85～90%▶収穫適期

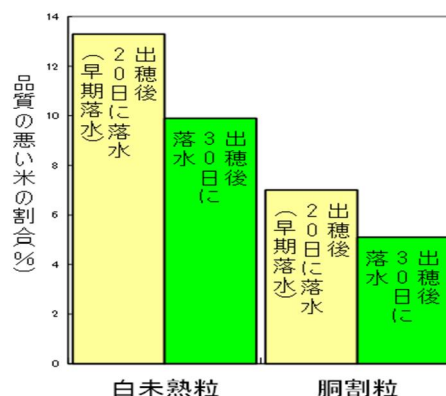
上から3～4本目の枝梗につく籾が
全て黄化した頃



3. 収穫までの水管理

落水時期の目安は収穫の5日前です。

白未熟粒や胴割粒の発生を防ぐため、
収穫に支障のない範囲で、できる限り
落水を遅らせましょう。



落水時期と白未熟粒・胴割粒の関係

4.きらみずきの乾燥・調製

- ・乾燥時の仕上げ水分は 14.5%です。過乾燥や急速な乾燥に注意し、胴割米の発生を防ぎましょう。
- ・玄米の選別は、1.85 mm以上の選別網を使用し、適正な流量で調製しましょう。

5.稲わら、もみ殻は田んぼにすき込みましょう

- ・稲わら、もみ殻のすき込みは、「土づくり効果」が期待できます。
- ・籾殻はケイ酸含有量が高く、有用なケイ酸の供給源となりますので、気温が高いうちに稲わらと一緒にすき込みましょう。



令和8年産「きらみずき」の種子申込みについて

- ・次年度の種子の申込受付は、10月中旬頃から行う予定です。
- ・詳細は後日、当課または集荷業者等からお送りするご案内（「きらみずき」推進ガイドライン）等を参考にしてお申し込みください。

熱中症対策：こまめな塩分・水分補給と休憩をとりましょう！